

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

武雄市立武雄中学校（佐賀県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】 GIGA端末を活用した美術科における実践（創造性と思考力）

生徒の主体性を最大限に尊重しながら学習を進めるために、表現手段の選択、デザインの決定、制作の進め方など、多くの場面で生徒自身が判断し、行動する機会を設定した。教科の本質に迫る学習をふまつつ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図った。

個別最適な学びを推進するために、CAD、粘土、スケッチといった多様な表現手段を提供することで、生徒は自身の得意な方法やイメージしやすい方法で制作に取り組むことが可能となった。単元を通じた進捗状況の可視化や振り返りの活用を通して、生徒各自のペースや理解度に応じたきめ細かな指導を行うことができた。

他者参照や鑑賞会を通して、生徒同士が互いの作品から学び、刺激し合う機会が設けた。これにより、個人の学びを深めるだけでなく、集団としての学びの質も高まったと考えられる。機能美を追求したデザインや、実社会でも活用されるCADの体験を通して、生徒は美術が社会と深く関わっていることを実感できると思われる。

ICTの活用に関しては、スプレッドシートやクラスルームなどのツールを効果的に活用することで、学習の効率化を図るとともに、生徒の学習意欲を高めることにつながった。

授業テーマ：篆刻制作 ～持ち手の形を考えよう～

授業の目的：篆刻制作を通して創造性と立体的な思考力を育む

授業内容

- ・ 印面のデザイン後、持ち手の形を考える
- ・ CAD、粘土、スケッチなど、多様な表現手段から自分に合った方法を選択する。このとき、持ち手を単なる装飾ではなく、機能美を追求したデザインとして捉える
- ・ 実用性（持ちやすさや押しやすさ）と芸術性（形の面白さや美しさ）を考慮しながらオリジナルの持ち手をデザインする
- ・ 抽象的な彫刻動画や他者の作品から、表現方法を追求する
- ・ 作品は写真に撮ってクラウド上で提出し、振り返りを通じて、自己調整能力を養う

評価の観点

- ・ 材料や用具の特性を理解し、制作手順を総合的に考え、見通しをもって表現しているか
- ・ 使う目的を基に、自分らしさや機能美を考慮した表現の構想を練っているか
- ・ 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に学習に取り組もうとしているか



CADツールによるデザイン



立体物の制作